

式 辞

穏やかな春の陽気に包まれ、まさに春たけなわの今日のよき日、大阪府教育庁ご代表をはじめとする来賓の皆様、そして多くの保護者の皆様方のご列席のもと、平成三十年度大阪府立春日丘高等学校第七十三回入学式を挙行できますことは、この上ない喜びであります。高いところからではありませんが、厚く御礼を申し上げます。

保護者の皆様方におかれましては、大阪府下で最も厳しい入学者選抜の難関を乗り越えて大きく成長されたお子様の姿が頼もしく感じられているのではないのでしょうか。まことにおめでとうございます。我々教職員一同、全力でお子様の成長のためにより充実した教育環境の構築に尽力していくことをお約束いたします。

ただ今入学を許可しました320名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。教職員一同、皆さんの入学を心より歓迎いたします。

本校は、創立以来、社会的責任の自覚の下で、「自主・自律」と「自由」の精神を発揮することの大切さを継承した教育活動を展開して、百年を超える歴史を刻み、本年度創立108年目を迎えます。

皆さんは、この歴史ある春日丘高校の新入生として、今まさに新たな一步を踏み出したところです。今まで支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れることなく、夢と希望の実現に向け、勉強や部活動そして学校行事に積極的に取り組み、楽しく充実した感動ある高校生活を送って下さい。

今、世の中はどんどん加速して変化しています。グローバル化の流れは止まりません。その中で人類が長年培ってきた社会や経済の基本的な仕組みが揺らいでいます。私たちは人々の自由と多様性を大切にしながら、人類全体が調和して発展する社会をつくっていかねばいけません。

京都大学総長の山極壽一（やまぎわ じゅいち）さんは、この激動の時代を生き抜いていく中で、最も必要なものは、自分を相手にどうわかってもらうか、そして相手が自分に対してどういう感情を抱いているかを把握する能力。つまり「対話」する力であり、これは直接対話する以外に培われたいと言っておられます。

現在は情報化社会ですが、インターネットでは相手が出す情報は引き出すことはできます。しかし、それ以上のものは伝わらないのです。少し前まで知識は人から人へ、本から人へ、話を聞くか図書館で本を読んで得るものでした。しかし現在では、様々な情報がネット上に漂っているので、キーワードさえ検索すれば何らかの答えは得ることができる時代です。新しい発見があれば、ネット上でその画像や映像は検索できるし説明も出てきます。しかし、その発見の裏にある感動、発見の経緯などは発見した人が実際に語った言葉を聞かないとわからないのです。是非ネットの中にはない「生」の知識をつかんで行って欲しいと思います。

皆さんは高校に入学して、今までとは異なった人間関係が生まれます。様々な考えの人たちと関わり、是非交流の輪を広げることにチャレンジして行ってほしいと思います。大きく広がった交友関係は、きっと広い視野を与えてくれます。皆さん一人ひとりが様々な想いを持って入学してきたことと思いますが、今日から新たな目標に向かって自己研鑽に励み、充実した高校生活を送ってくれることを期待して私の式辞とします。

平成30年4月5日

大阪府立春日丘高等学校 校長 福留 明富